

政治経済学 II

第 12 回：日本の貧困

矢内 勇生

法学部・法学研究科

2015 年 7 月 8 日



神戸大学

今日の内容



- 1 日本の貧困
 - 貧困の基準（復習）
 - 日本の貧困

- 2 子どもの貧困
 - 日本における子どもの貧困

貧困線



貧困の基準

- 貧困とは何か？
- 貧困とそれ以外を分ける基準は？

- 貧困を分ける基準：貧困線
- 貧困線の引き方は様々：絶対的貧困と相対的貧困

絶対的貧困



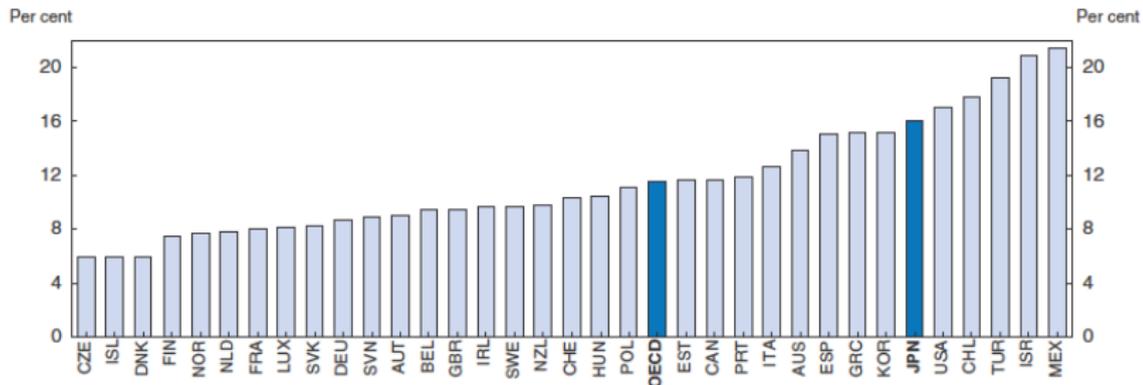
- 絶対的基準によって貧困を決める
 - 購買力平価で1日1.25ドル未満（世界銀行2005）
 - 次のリストのうち2つ以上を欠く場合（UN1995）：食料（BMI > 16）、安全な飲料水、汚物処理施設、健康（重病と妊娠の際に医療にアクセスできること）、住居（1部屋に4人未満、きれいな床）、教育（読み書きを習えること）、情報、サービスへのアクセス
- 絶対的貧困線のメリット：世界中のあらゆる社会を同じ基準で比較できる
- デメリット：基準の選び方が恣意的
- 絶対的貧困はグローバルな格差に関わる

相対的貧困



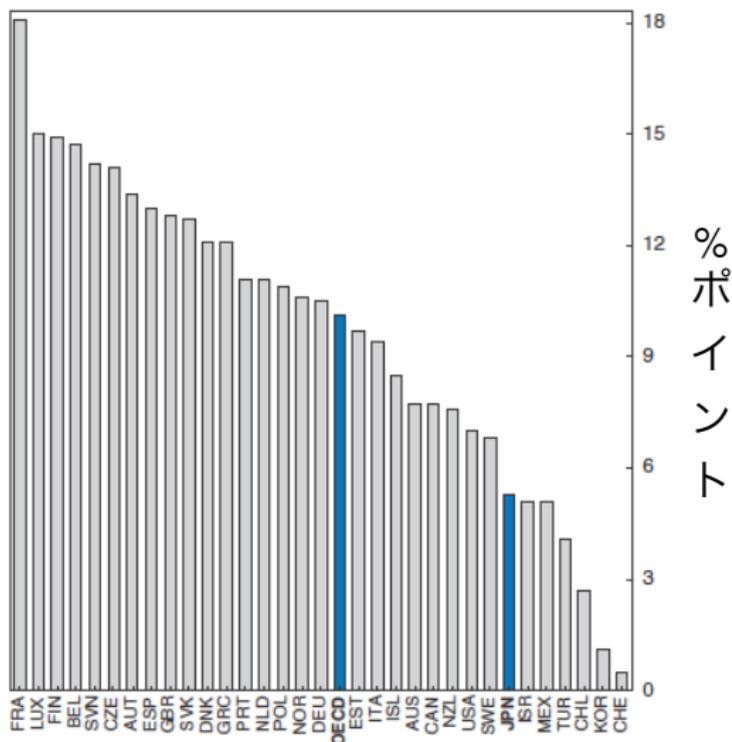
- 国ごとに貧困線を引く
- 基準：可処分所得の中央値の半分
- 相対的貧困線のメリット：基準が客観的
- デメリット：国ごとに「貧困」の意味や程度が大きく異なる
- 相対的貧困は国家内の経済格差に関わる

OECD 諸国の相対的貧困, 2012 年のデータ



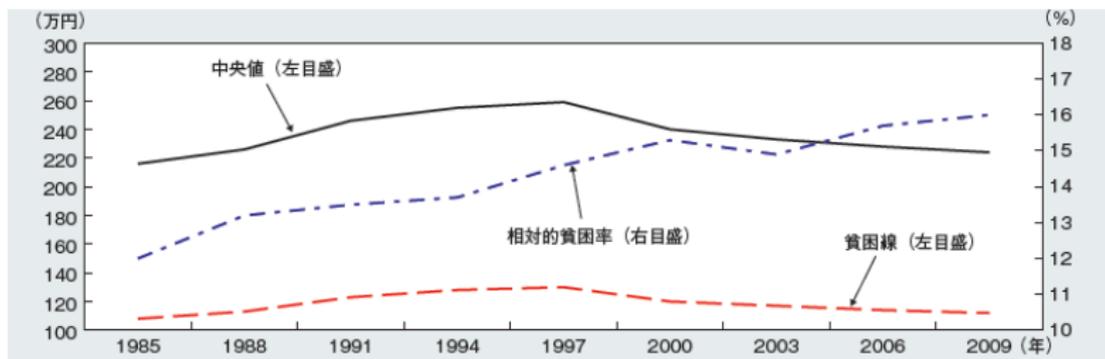
出典 : OECD Economic Surveys: Japan (2015: p.30)

OECD 諸国の貧困削減率, 2012 年のデータ



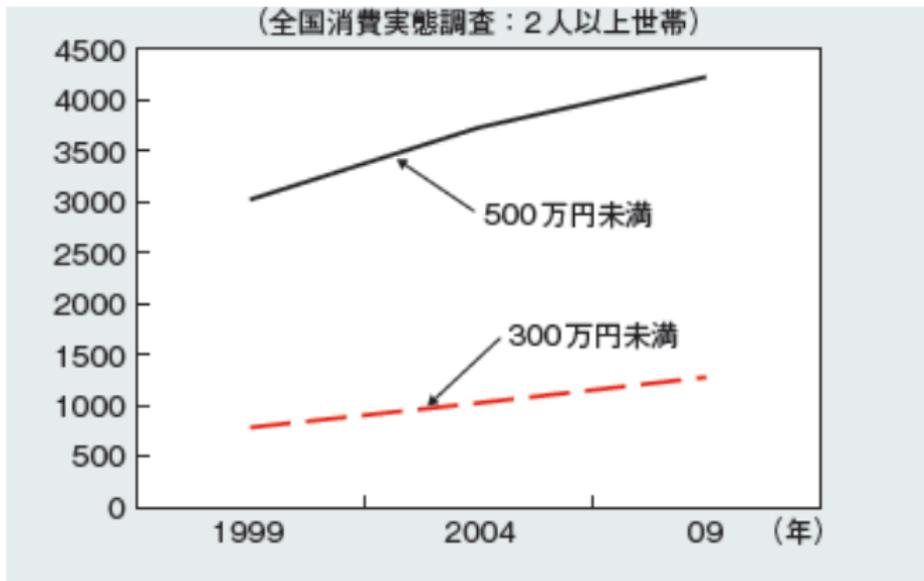
出典：OECD Economic Surveys: Japan (2015: p.30)

日本の相対的貧困率の推移



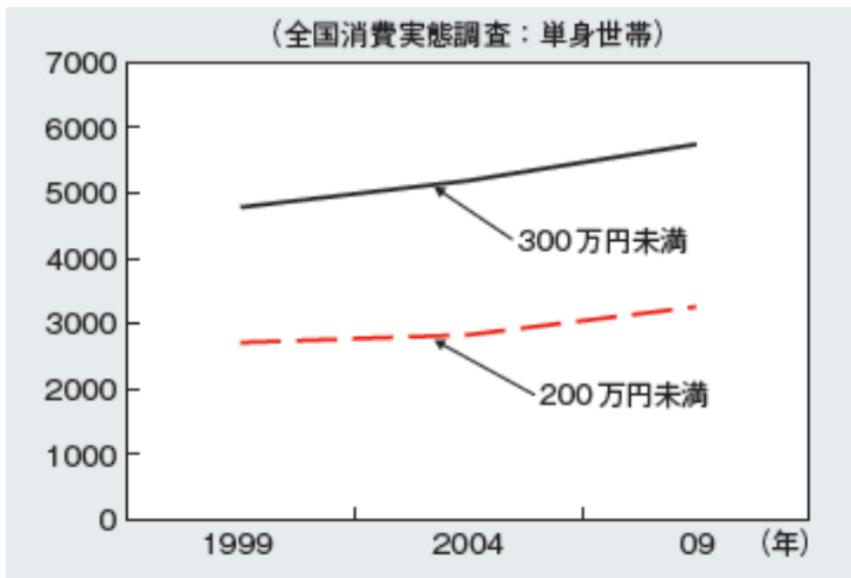
出典：厚生労働省『平成 24 年版 労働経済の分析』

日本における低所得世帯数の推移：2人以上世帯



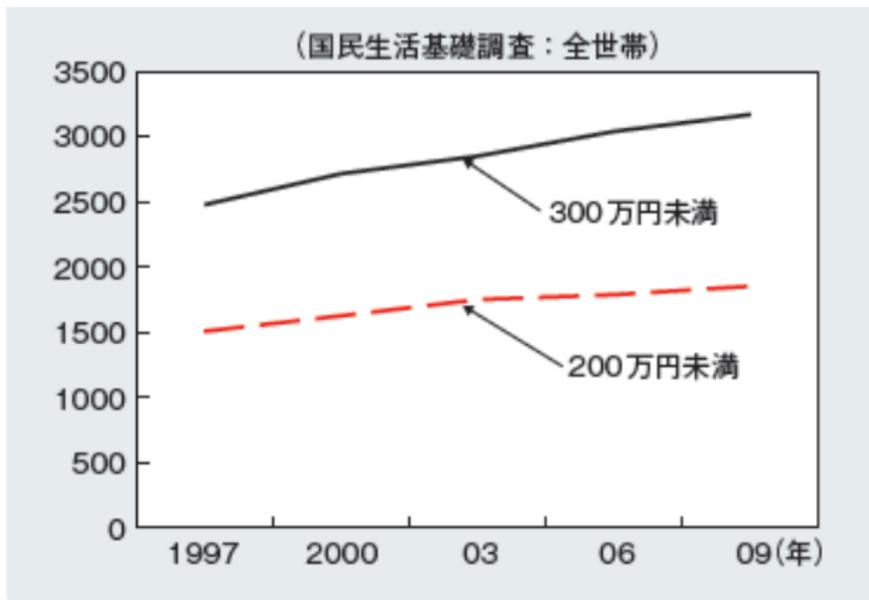
出典：厚生労働省『平成 24 年版 労働経済の分析』

日本における低所得世帯数の推移：単身世帯



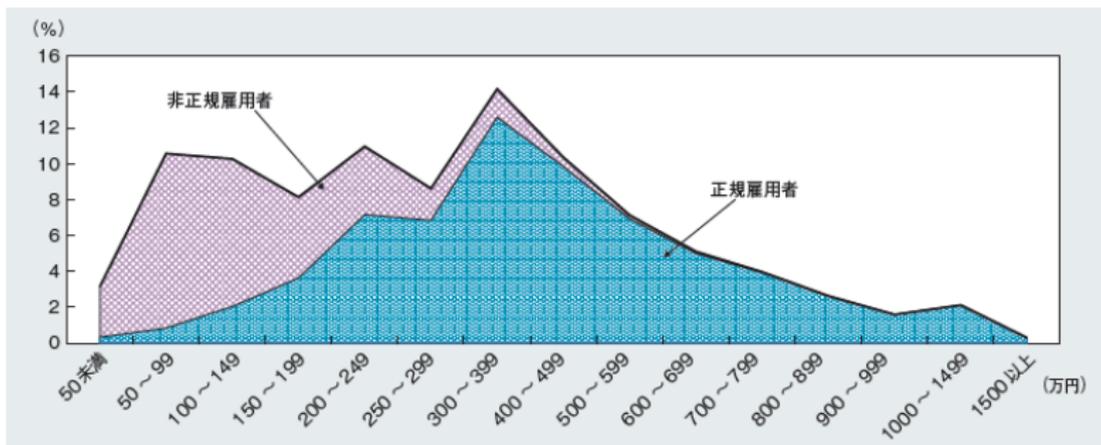
出典：厚生労働省『平成 24 年版 労働経済の分析』

日本における低所得世帯数の推移：全世帯



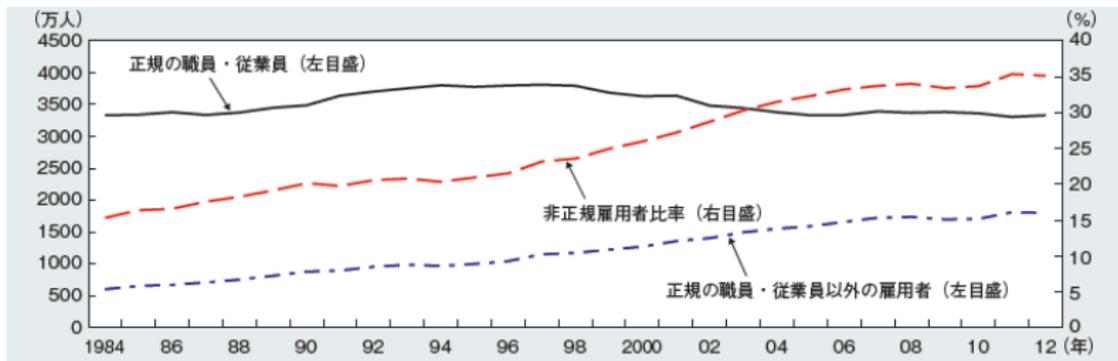
出典：厚生労働省『平成 24 年版 労働経済の分析』

日本における雇用所得の分布



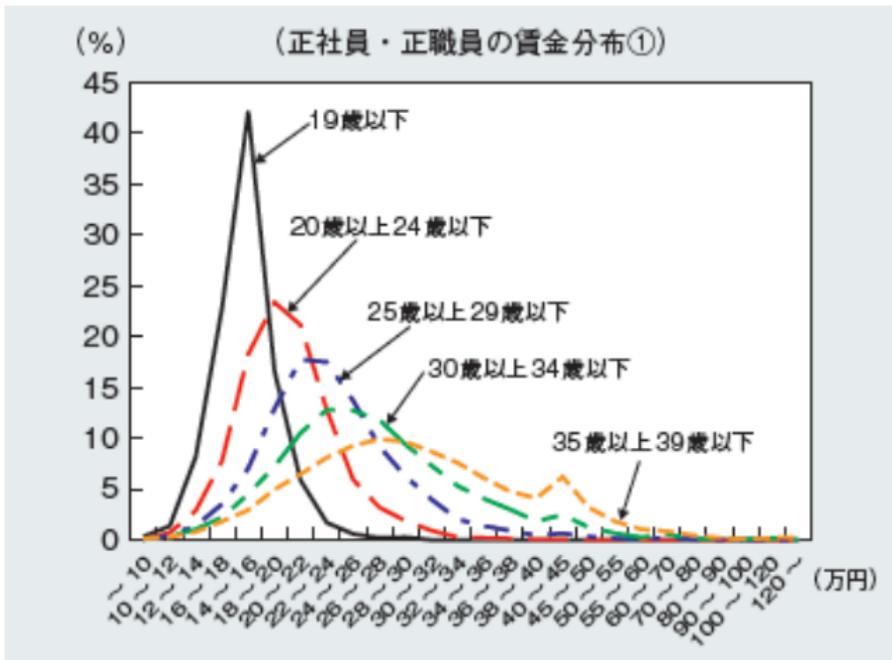
出典：厚生労働省『平成24年版労働経済の分析』

日本における非正規雇用者数の推移



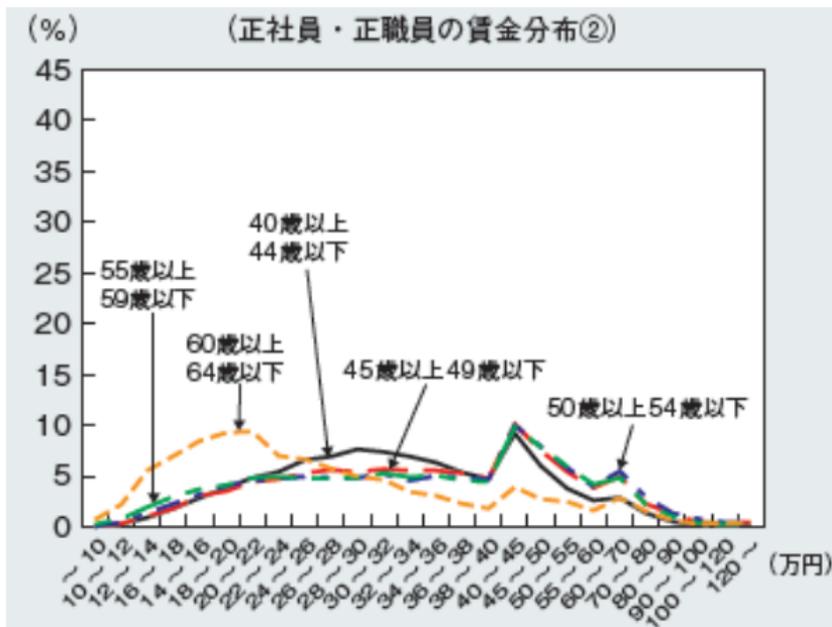
出典：厚生労働省『平成 24 年版 労働経済の分析』

賃金の分布：正規雇用者（1）



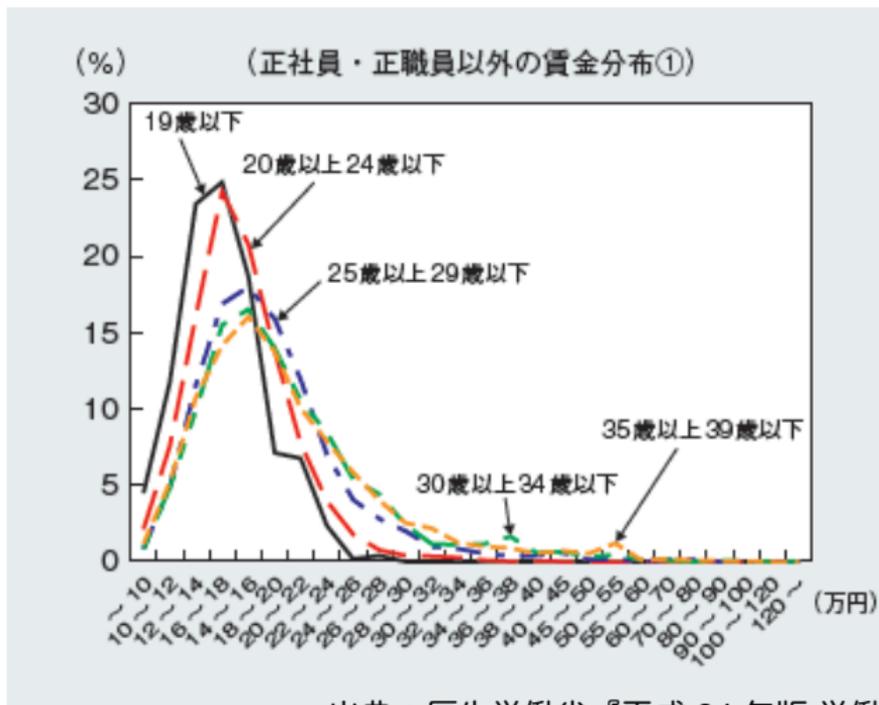
出典：厚生労働省『平成24年版 労働経済の分析』

賃金の分布：正規雇用者（2）



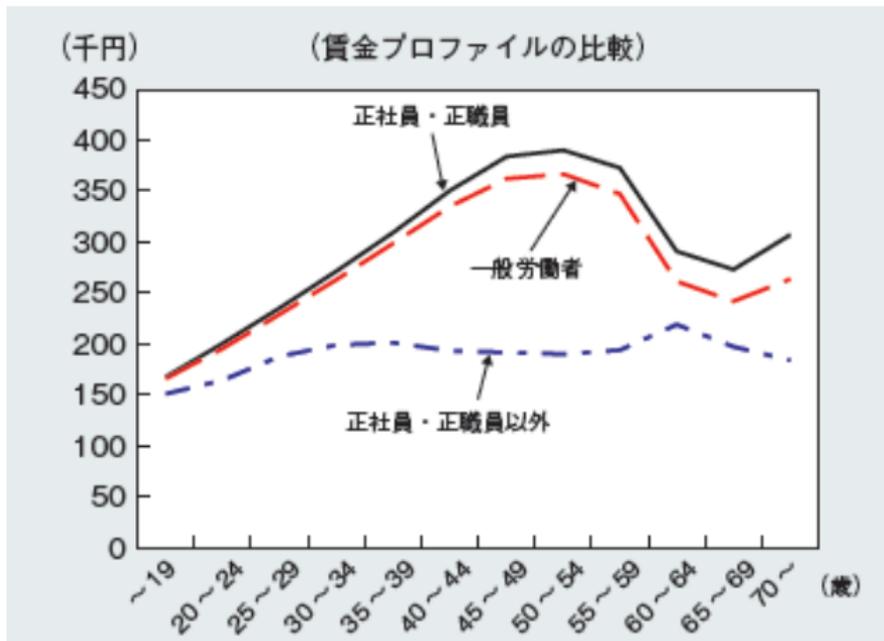
出典：厚生労働省『平成 24 年版 労働経済の分析』

賃金の分布：非正規雇用者（1）



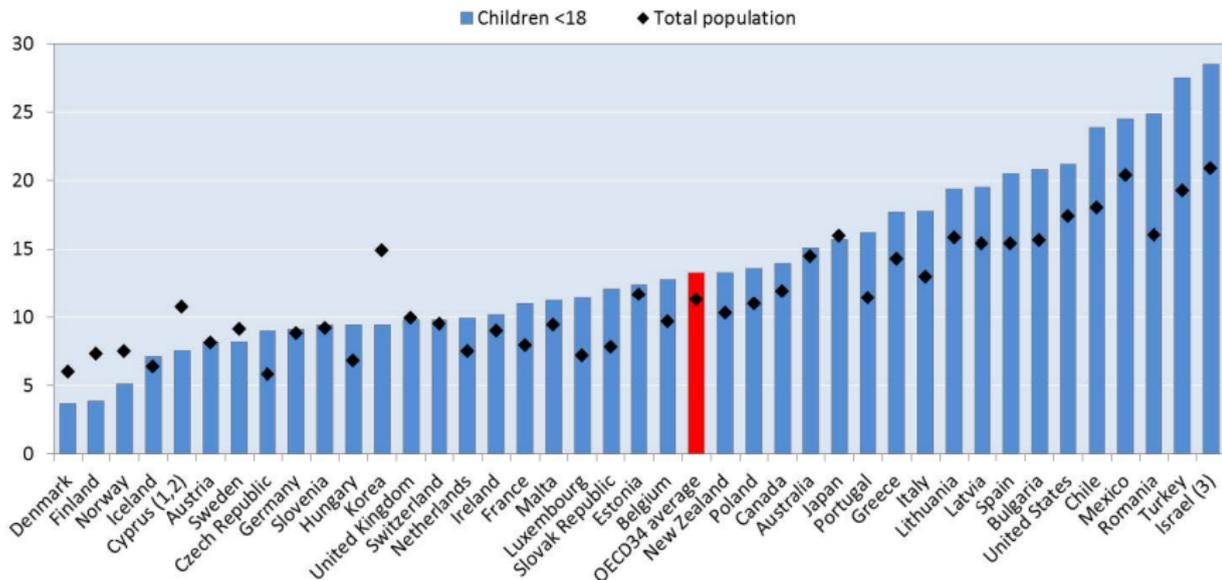
出典：厚生労働省『平成24年版 労働経済の分析』

賃金の分布：正規雇用者と非正規雇用者の比較



出典：厚生労働省『平成 24 年版 労働経済の分析』

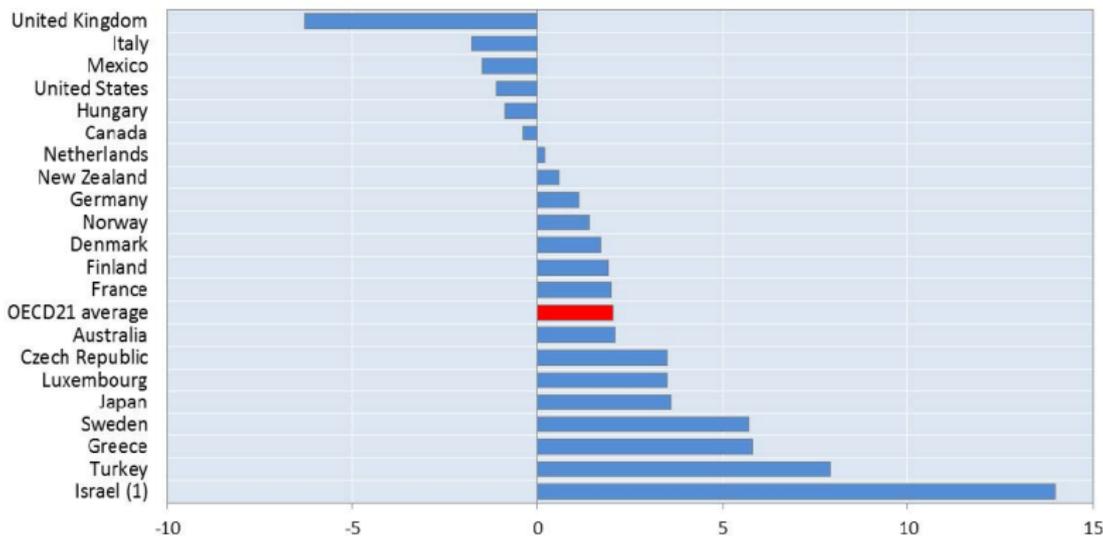
OECD における子どもの貧困, 2014



出典：OECD Family Database

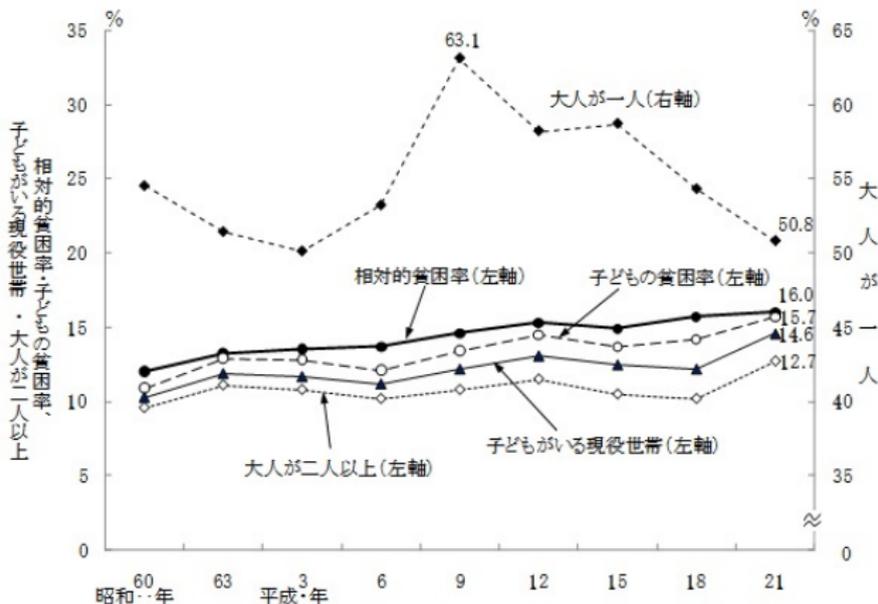
日本における子どもの貧困

OECD における子どもの貧困の変化, 1990年代から 2010年まで



出典：OECD Family Database

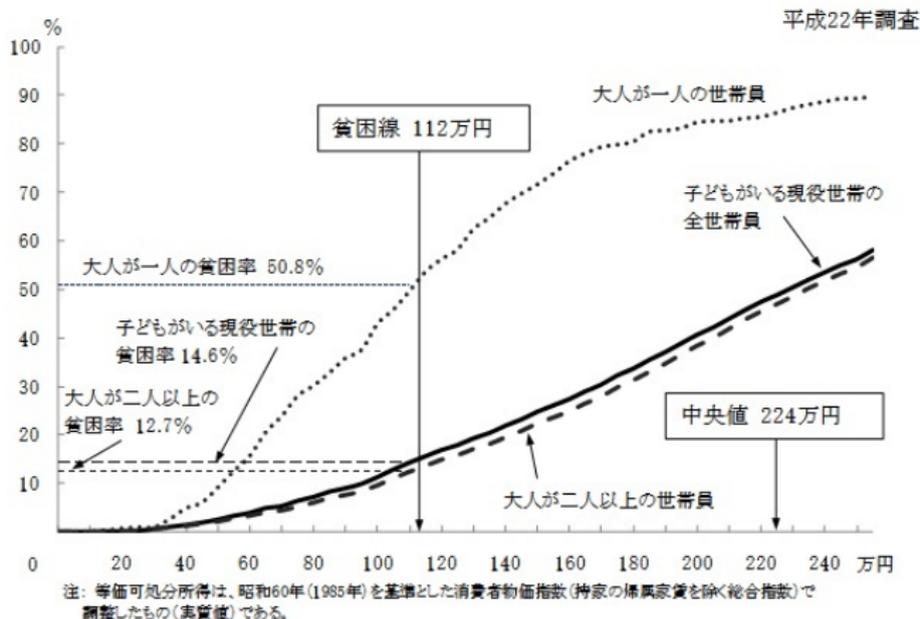
日本の貧困率の推移



- 注：1) 平成6年の数値は、兵庫県を除いたものである。
 2) 貧困率は、OECDの作成基準に基づいて算出している。
 3) 大人とは18歳以上の者、子どもとは17歳以下の者をいい、現役世帯とは世帯主が18歳以上65歳未満の世帯をいう。
 4) 等価可処分所得金額不詳の世帯員は除く。

出典：厚生労働省『平成22年国民生活基礎調査』

子どもがいる現役世帯の所得別の世帯員数累積分布



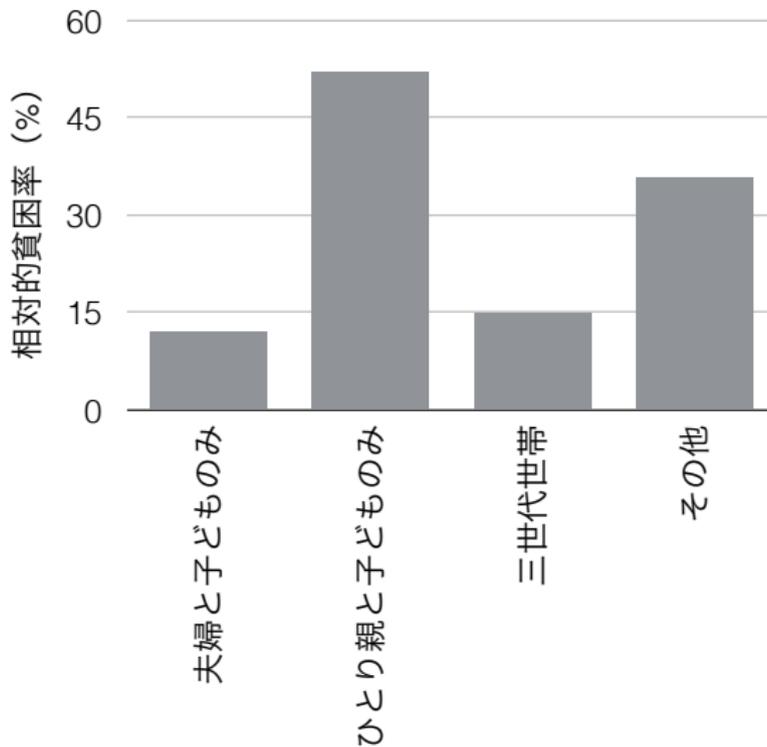
出典：厚生労働省『平成22年国民生活基礎調査』

日本における子どもの貧困の特徴



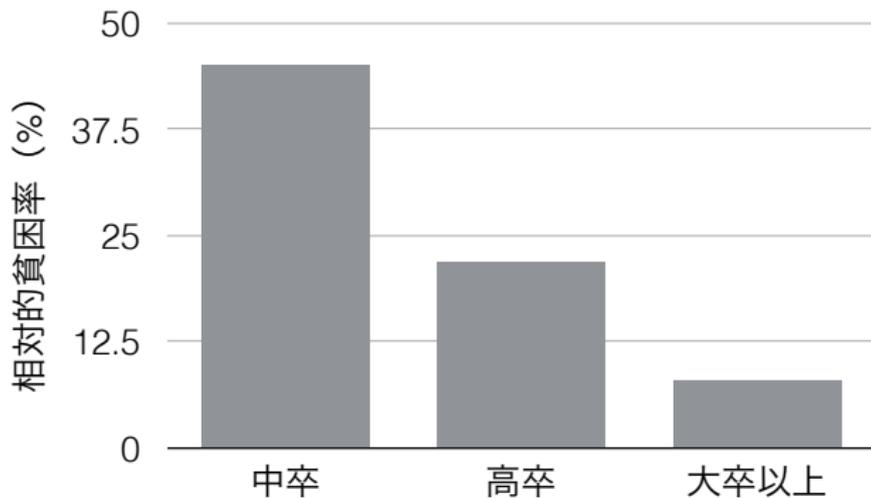
- 未成年の相対的貧困率：15.7%（2009年）
- 就学援助費の受給率：15.6%（2011年）
- 子どもの貧困率は上昇傾向
- 一人親世帯の子どもの貧困率は先進国で最悪：58.7%
 - 2位は合衆国：47.5%
 - 3位はアイルランド：47%
 - デンマーク：6.8%
 - 韓国：26.7%

世帯構造別に見た子どもの貧困率



阿部 (2014: p.12)

親の学歴別に見た子どもの貧困率



阿部 (2014: p.12)

貧困がもたらす弊害



貧しくても幸せなら問題ない？

- 貧困と学力
- 貧困と健康
- 貧困と虐待
- 貧困と非行・犯罪
- 貧困と疎外感

貧困は1世代だけの問題なのか？

貧困の社会的コスト



貧困にある A さん

- 放っておくと高校を中退してしまう
 - そのため、不安定の雇用にしかなることができない
 - 税金も社会保険料も払えない
 - A さんを貧困のままにしておく社会的コストは？
-
- 貧困状態に放置した場合（最悪のケース）
 - 20 歳から 65 歳までの生活保護費：約 **5000 万円**
 - 貧困から救い出す政策を実施した場合（最善のケース）
 - 職業訓練とその間の生活費：約 **500 万円**
 - 20 歳から 65 歳までに支払う社会保障費：約 **4500 万円**
 - 社会的コスト（万円）： $(4500 - 500) - (-5000) = 9000$

参考：阿部 (2014)

貧困の連鎖



① 金銭的経路

- 教育投資
- 家計の逼迫
- 資産

② 家庭環境

- 親のストレス
- 親の病気
- 親と過ごす時間
- 文化資本
- 育児スキル、しつけスタイル

③ 遺伝子

- 認知能力の遺伝？
- 身体的特徴、性格、発達障害などの遺伝？

④ 職業

⑤ 健康

⑥ 意識

- 意欲、自尊心、自己肯定感
- 福祉文化

⑦ その他

参考：阿部 (2014)

貧困対策の政治



- 子どもの貧困は解決すべき政治課題か？
- 政治的に解決（改善）できるのか？
- 貧困に対処するためにどのような政策が考えられるか？
- それらの政策を実現する際に、どんな**政治的障壁**があり得るか？
- 政策実現のために、どんな戦略が必要か？

来週のテーマ



グローバルな格差

- グローバルな格差とは何か？
- グローバルな格差と国内の格差の違いは？
- グローバルな格差と国内の格差の関係は？